

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

### ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ■組立て上のお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- 枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ障子取付けねじをお渡しください。
- ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

### ■部品・ねじ一覧表

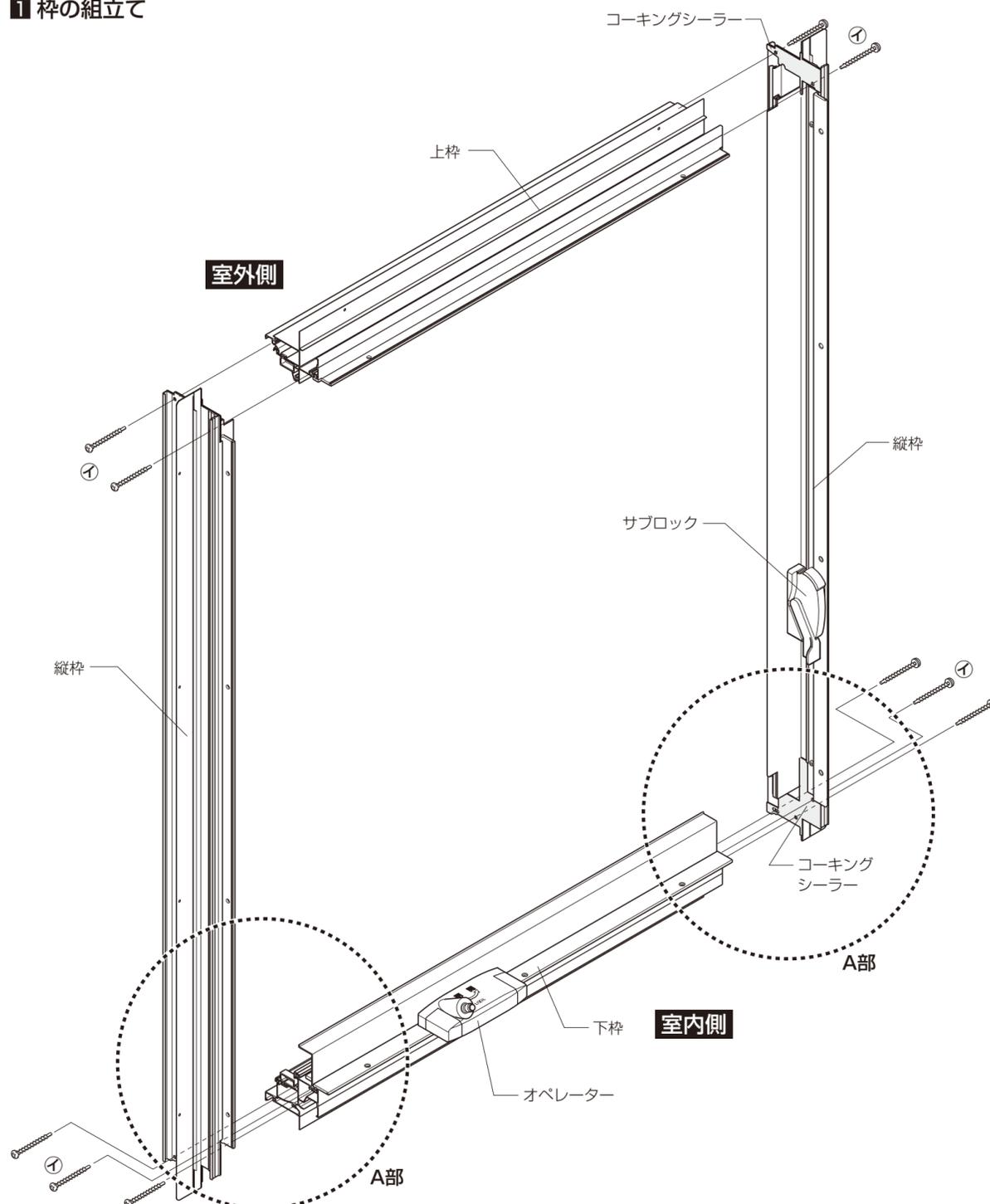
記号	㊦	㊧	㊨
姿図			
	バインドタッピンねじ φ4×30	ナベタッピンねじ φ4×25	皿小ねじM4×8
使用部位	枠	障子	ステー

### オペレーターハンドルセット

記号	㊩	㊪
姿図		
	ハンドル	トラス小ねじ M4×6

### ■組立て順序

#### 1 枠の組立て



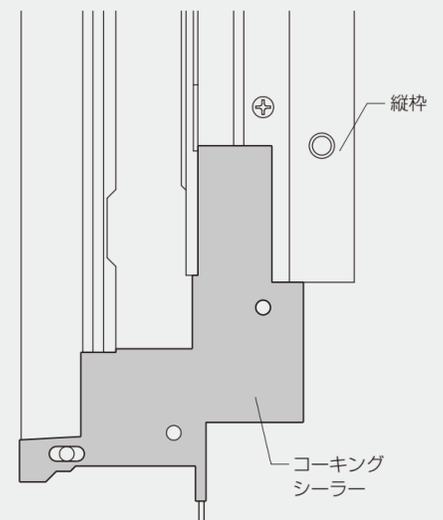
### ▲注意

- ㊦ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ▲注意

- 縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

### ■A部詳細図



## 2 障子の組立て

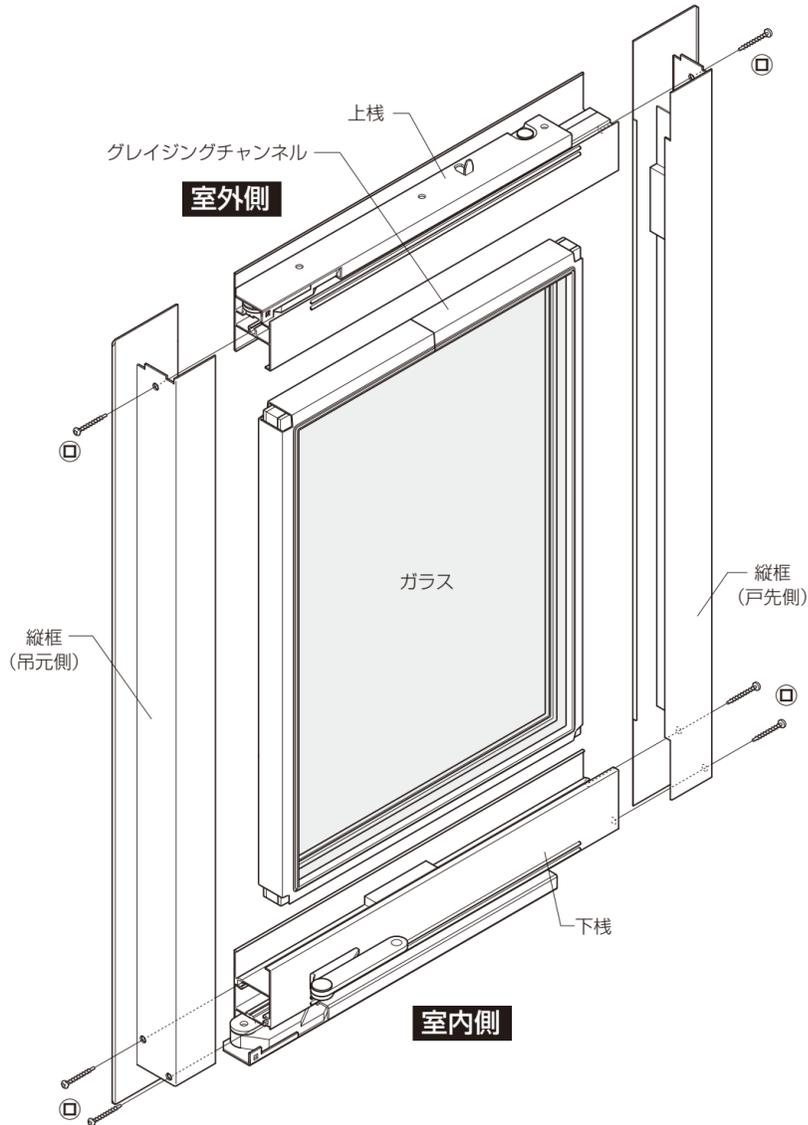
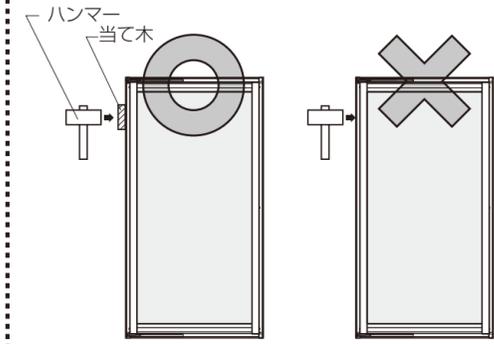
### 1 グレイジングチャンネルの取付け

- ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル（別売り）を用意し、ガラス四周にまわします。
- ※コーナー部はグレイジングチャンネルがくい込まないようにしてください。

### 2 障子の組立て

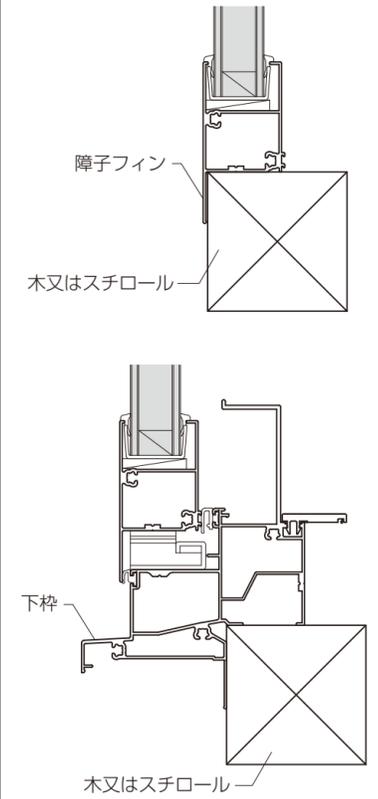
- ①上下棧を左右均等になるように差込みます。
- ②縦框を差込み、上下棧とねじで固定します。

お願い  
※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。



### ■障子の保管

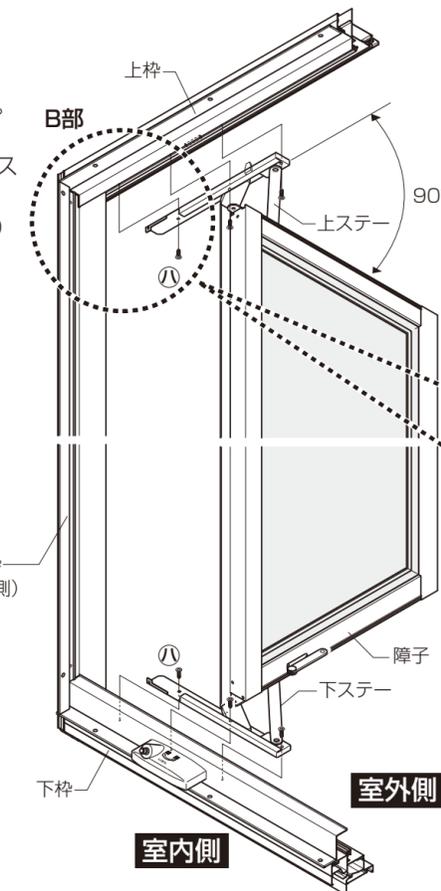
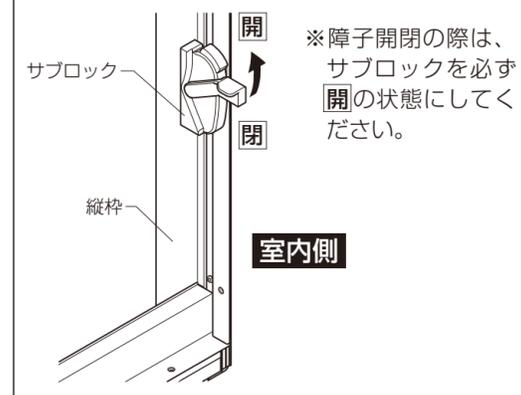
※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



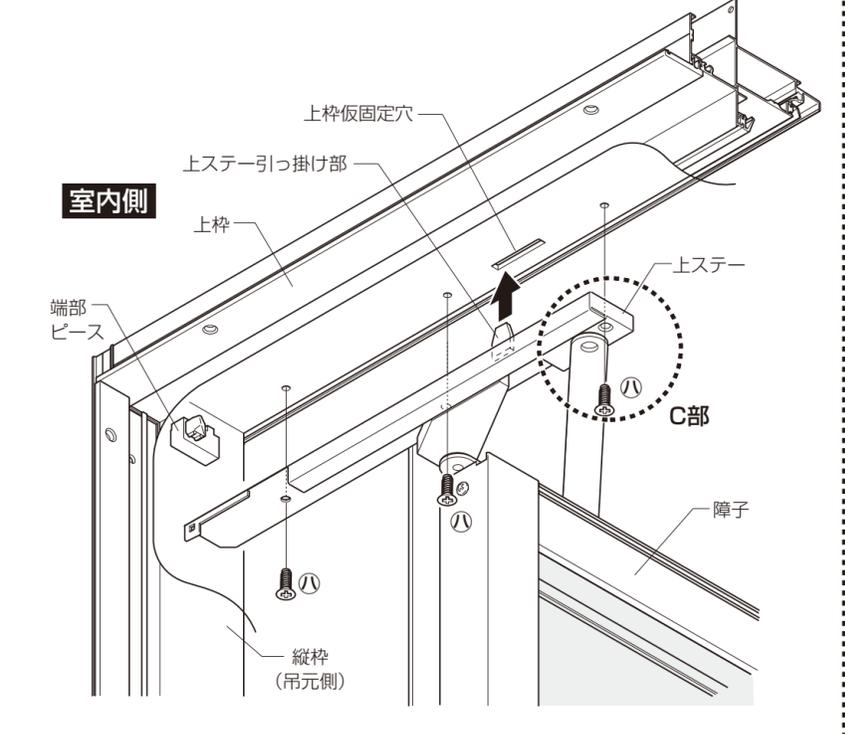
## 3 障子の取付け

- ※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
- ①障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
- ②上ステーの引っ掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。
- ③下ステーを下枠にのせた後、上下枠(吊元側)の端部ピースに上下ステーを差込みます。
- ④C部のねじを最初に取付けます。(障子が仮止めされます。)
- ⑤残ったねじをすべて固定します。
- ※逆の手順で障子を取外せます。

### ■サブロックの開閉位置



### ■B部詳細図



- ⑥ハンドルをオペレーターの軸に差込みねじ止めします。 ※ハンドルは、障子を閉めた状態で、上向きにして取付けてください。 ※ねじ締めの際は2.0±0.5N・m {20±5kgf・cm} のトルクで止めてください。
- ⑦ハンドルを回し、オペレーターのアームを出します。
- ⑧オペレーターのアームを障子のブラケットとねじ止めします。

